



Society5.0 時代を支える 未来の体育実践



Society5.0（超スマート社会）といわれる「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」が、近く到来するといわれています。このような時代に向けて、今後学校教育の中で ICT 機器はより一般的なツールとして利活用されていく可能性があります。そこで、体育 ICT 研究会では、日本各地の優秀な体育教育実践者を集め、未来の体育を支えるツールとして ICT 機器を効果的に利活用する方法を探究しています。

日 時：令和2（2020）年2月22日（土）

時 間：13:00-16:00

場 所：①東京学芸大学（メイン会場）
②愛知教育大学
③北海道教育大学 sa

参加費：無料

オンラインでつないでの実施となります。
お近くの会場を選択してご参加下さい！



QRコードから

お申込みください



【第1部】研究報告（体験・プレゼン型発表）

1) VR コンテンツを活用した体育学習

中野区立江原小学校・主任教諭・花坂 未来

2) 体育学習でメタ認知を促す ICT の利活用

北海道教育大学附属札幌小学校・教諭・河本岳哉

3) 保護者の体育学習参加を可能にするデジタル通知表

江戸川区立新田小学校・主幹教諭・石井幸司

4) 新時代の体育教師の成長の場を創出するインターネットの活用

鴻巣市立赤見台第一小学校・教諭・大塚圭

【第2部】on-line 遠隔地パネルディスカッション 「遠隔地体育の授業づくりに挑む！」

モデレーター：体育 ICT 研究会 会長 港区筭小学・校長・石井卓之

パネリスト：東京学芸大学・准教授・鈴木直樹
愛知教育大学・准教授・鈴木一成
北海道教育大学札幌校・准教授・中島寿宏